

～横須賀市の学校教育～

輝け！よこすかの子どもたち

「人間性豊かな子ども」を育む

東関東アンサンブルコンテスト
金賞受賞（坂本中）



小学生インターンシップ（久里浜小）



表現運動・ダンス発表会（岩戸小）



あなたのためのおべんとうコンクール
文部科学大臣賞受賞（長沢中）



職場体験（大矢部中）

- P1 ----- 教育長就任のあいさつ
横須賀市教育振興基本計画第2期実施計画を策定しました
- P2 ----- 学校の教育力向上のために
～ 学校と教育委員会が一体となって取り組みます ～
- P3～4 --- 家庭の協力を！ ～ 人間性豊かな子どもを育むために ～
－学力・体力の向上のための家庭の役割－
－いじめ問題に対する家庭の役割－
- P5～6 --- よこすかのキャリア教育 ～小中高それぞれの取組～
- P7 ----- 本とふれあうことで、子どもたちの豊かな心を育てます！

2014年3月
第5号



未来を担う子どもたちのために ～教育長に就任して～

子どもは家庭・学校・地域で多くの方と出会い、支えられ、さまざまな影響を受けることによって成長し、社会を担う大人になっていきます。子どもたちにとって大切な存在である家庭・地域の方々に、学校での子どもたちの様子や学校の取組、教育委員会の取組をご理解いただき、ともに手を携えていくことが、子どもの「生きる力」を育むことにつながっていくと考えています。教育委員会は、学校を支援し、子どもたちにとって魅力的な学校となるよう、全力で取り組んでまいりますので、どうぞ皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。 横須賀市教育委員会 教育長 青木 克明



横須賀市教育振興基本計画第2期実施計画を策定しました

横須賀市教育委員会は、横須賀市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を平成23年3月に策定しました。この基本計画の11年間のうち、第2期実施計画が平成26年度から平成29年度までの4年間になります。

【横須賀の子ども像】

『人間性豊かな子ども』



横須賀市が目指す
子ども像です。

自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けている

生命や人権を尊重し、他者との豊かな関わりを持っている

心と体の健康を意識し、健やかな体を持っている

自らの可能性を信じ、夢や目標に向かって努力している

社会の一員としてルールを守り、主体的に社会に貢献している

郷土を愛し、豊かな国際性を身に付けている

「横須賀の子ども像」の実現に向けて、**5つの重点課題**を位置付けました。

【重点課題1】学校・家庭・地域の連携推進

【重点課題2】学力・体力の向上

【重点課題3】いじめ・暴力・不登校の未然防止と早期解決

【重点課題4】学校の教育力向上

【重点課題5】社会教育施設による学習支援の推進



保護者や地域の皆様に広報紙や家庭向けリーフレットを発行するなど、学校教育についてご理解いただくよう努めます。また、基本的な生活習慣・運動の習慣・規範意識を子どもに身に付けさせるためには、学校・家庭・地域の連携をさらに推進することが必要です。家庭・地域の皆様とともに「人間性豊かな子ども」の育成に向けて、取り組んでいきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

学校の教育力向上のために

～ 学校と教育委員会が一体となって取り組みます ～

教育振興基本計画第2期実施計画を受けて、各学校と教育委員会が横須賀の子どもたちに今必要な力として重点的に指導すべきことを設定しています。各学校では、それをもとに学校の実態を踏まえ、どのようなことに力を入れて取り組むのかを具体的に、実践を行っています。教育委員会では、各学校の取組に対しての指導、支援を行っています。

横須賀の子どもたちにしっかりと力をつけるために、学校と教育委員会が一体となって取り組んでいます。

平成26年度 各学校、教育委員会で重点的に指導していくこと

重点1

学力を向上させる

- 子どもの学習上の課題を明確にし、指導の改善を図る
- 各学年の学習内容を確実に定着させる
- 発達の段階・学びの段階を踏まえた指導を行う
- 家庭・地域と連携して、基本的生活習慣・学習習慣の確立を図る

重点2

認め合い高め合う関係を築く力を育てる

- 人と関わるよさや集団で活動する価値を、子どもに実感させる
- 集団や社会と関わることを通して、子どもに規範意識や社会性を身に付けさせる
- 一人一人が他者の考えや思いを理解し、集団の一員として自分の力を発揮させ、自主的・実践的態度を育てる

重点の内容をもとにしながら、例えば学校では、横須賀市学習状況調査の結果をもとに子どもたちの課題を明確にし、授業につなげるといった取組を行っています。また、人と関わるよさを実感させるために、特別活動の時間に人間関係を育む活動を計画的に実施するといった学校もあります。教育委員会は各学校の取組が子どもたちにとってよりよいものとなるよう支援、指導を行っています。

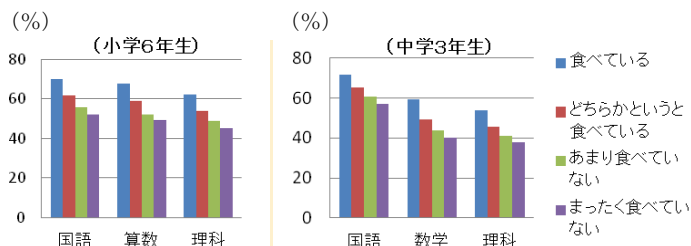
家庭の協力を！ ～ 人間性豊かな子どもを育むために ～

学力・体力向上のための家庭の役割

子どもの学力向上や体力向上のためには、その土台となる基本的な生活習慣を家庭で身に付けることが大切です。家庭で温かく子どもを見守り、教え、学校や地域と一緒に頑張って子どもたちを育てていきましょう。

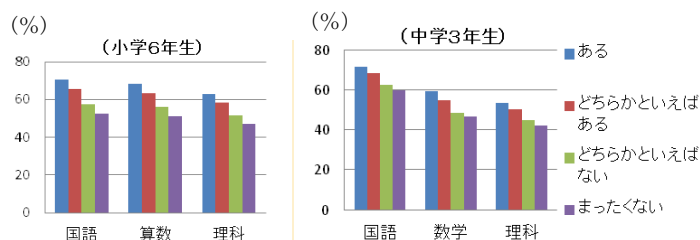
食生活と正答率との関係～朝食を毎日食べていますか～

平成 24 年度全国学力・学習状況調査の全国結果より



朝食を食べている子どもの方が、どの教科においても、正答率が高い傾向にあります。

達成感と正答率との関係～ものごとを最後までやり遂げて嬉しかったことがありますか～



最後まで頑張ろうとしていたり、成功体験があったりする子どもの方が、どの教科においても正答率が高い傾向にあります。



体と心と頭を動かして、日々学んだことを積み上げていける、生活の土台をつくりましょう！

次のことはできているかな？

あいさつ

家族でも日常的な挨拶や感謝の気持ちを表す言葉を進んで交わしましょう。

整理整頓

勉強や遊びの道具・衣服などの整理整頓ができるよう、子どもに声をかけましょう。

手伝い

子どもの年齢に合わせて家族の一員として、家の手伝いをさせましょう。

生活リズム

睡眠・食事・勉強・遊びなどの時間を決めさせ、生活のリズムを作らせましょう。

食事

三食きちんと食べる習慣をつけさせましょう。

いじめ問題に対する家庭の役割

「いじめ」が、大きな社会問題となっています。残念なことに「いじめ」は集団の中で起こり、どの集団にも、どの子にも起こりうるものです。「いじめ」は人間として絶対に許されない行為であるという強い意思を持ち、学校・家庭・地域が一体となって子どもに接していかなければいけません。そして、よりよい人間関係をつくるためには、学校だけでなく、家庭や地域の中で、心の栄養を十分もらっていることも大切です。目標は子どもが自立し、自分の力で困難を乗り越えていけることです。

子どもの発するこんなサインに要注意！！

- ☐ 口数が少なくなり、元気がなくなる。
- ☐ 感情が不安定になり、家族や物にやつあたりをする。
- ☐ 急に甘えたり、反抗的になったりする。
- ☐ 持ち物がなくなったり、壊れたりする。また、お金をねだる。
- ☐ 学校から帰ったとき、衣服が汚れている。
- ☐ 朝、起きられなかったり、学校へ行くことを渋ったりする。
- ☐ 身体的な症状が現れる。(腹痛・頭痛・微熱・過呼吸・嘔吐など)
- ☐ 友だちと遊ばなくなる。誰も遊びに来なくなる。
- ☐ 急な外出が多くなる。
- ☐ 急に携帯電話を気にするようになる。
- ☐ 食欲や覇気がなくなる。



子どもの悩み相談ホットライン

受付日：月・水・金曜日

(祝休日・年末年始は
のぞきます)

受付時間：午前9時～午後5時

専用電話：046-822-6522

子どもにかかわるときの大事な言動

【いじめにあっているとき】

- ①本人の話をよく聴く。
話す不安や怖さがある・・・と考えながら
- ②あなたを守るという保証。
- ③一緒にどうしたら良いか考える。

【いじめている側のとき】

- ①本人の話をよく聴く。
・そうせざるを得なかったのかもしれない
・いじめていることに気づいていないのか？
・他に悩みごとがあるのかも・・・と考えながら
- ②何が悪いのかをきちんと伝える。
- ③どうしたらよいのか、一緒に考える。

こんな関わり方を！

「最近辛そうに感じるよ。何かあった？
一緒に考えさせて」

「ご飯がすすまないね。何か気になっている事があるなら聞くとよ。」

と子どもが「話していいのかも」という気持ちになるようにしてあげましょう。

反対に「今日はどうだった？」「あの子に嫌なことがなかったの？」といった言い方では、子どもがプレッシャーを感じたり、問題がこじれたりすることを予想して嫌がります。



こんな関わり方を！

「どうしてこうなったのか教えて。一緒に考えるよ」
「あなたははどうしたいと思っている？あなたの考えを教えて」

と子どもが「話を聞いてくれる」という気持ちになるようにしてあげましょう。

反対に「(いきなり) お前がわるい！」と言われれば子どもは何を言っても無駄だと感じ、「その程度のことはいじめにはならないよ！」という言い方をしてしまうと子どもたちのいじめに対する意識が薄れてしまう可能性があります。

保護者も学校も、トラブルの渦中ではなく一歩離れたところから、「子どもの今後の立ち直り」を同じ目標にして、冷静に対応しましょう。その際は、起きた事実を共有し、今の子ども様子を把握することが大切です。さらに、子どもの気持ちを最優先にして今後の方向性を定め、家庭と学校で何ができるのか、役割分担をしましょう。

よこすかのキャリア教育 ～ 小中高それぞれの取組 ～

職業の多様化、価値観の多様化、フリーター・ニートの問題など現代社会を背景として、子どもたちに必要とされる力、求められる能力が変わってきています。そのため、どんな時代になっても生きていける力を子どもたちに付ける必要があります。学校では、例えば「他人のよさや弱さを理解すること」や「主体的に行動すること」や「ものごとを計画して実行すること」や「働くことの意義を理解すること」といったさまざまな能力をすべての教育活動を通じて身に付けさせようとしています。

高坂小 ちびっ子祭り



自分たちで工夫して計画したことを発表できたね！



自分たちで台本や音楽をつくるミュージカルは大変だったけど楽しかったね！

久里浜小 インターンシップ



責任を持って仕事をするのが大切なんだね。



仕事は一人の力ではなく、チームで協力してやっているんだ！

沢山小 作ってワクワクあそんでわくわく～秋まつり～



こうやるといいよ！



1年生のために準備してよかったね！

小学校では、人と関わることで相手の立場を考慮することや、物事を進めるために必要な計画を立てたり準備したりすることの大切さを学びます。また、自分が果たすべき役割を自覚し、目標に向かって努力する気持ちを育みます。

浦郷小 学校探検・春の遠足



音楽室にはいろいろな楽器があるんだよ。



6年生のお兄さんはやさしいな！

逸見小 縦割り班集会



お姉さんやお兄さんはやっぱりすごいな！



下級生は楽しんでくれたかな？

中学校では、総合的な学習の時間に、「職場体験」を中心として「働く」ということについて考えます。社会と関わることを通して「働くこと」の意義を理解し、自分が果たすべき役割を考え、自己肯定感や自己有用感を育みます。

坂本中学校



MTT(マイタウンティーチャー)*と一緒に「働く」ということについて考えます。職場体験から学んだことを仲間と共有し、今の自分をふりかえります。
※事業所から学校のプログラムに参画してくださる MTT=「よこすかで働く大人は、みんな子どもたちの先生」

社会保険労務士さんが中学生にもわかりやすく「働く上での権利と義務」について話してくれます。

大矢部中学校



大人ってすごいな。今、私たちが大切にすることは・・・。

働くことの大変さを感じるだけでなく、大人はどのような思いで働いているのかを知る貴重な機会です。

大楠中学校



職場体験先への初めての電話。原稿をつくっても緊張します。

横須賀総合高校では、総合学科の1年次で必ず行われる「産業社会と人間」の授業、2～4年次の「総合的な学習の時間（全日制では【羅針】）」を通して、自分の興味関心に基づいて課題を設定し、研究を進め、自分の進路につなげていくことを行っています。



1年次の「産業社会と人間」の授業では、自分の希望の進路について考え、その実現に向けてどのように学校生活を送るかを考えます。2年次の選択科目についても考え、最後にはライフデザインを発表します。

定時制ではそれぞれの学びを披露し合う成果発表会が行われます。



2年次ではゲストティーチャーを招いていろいろな職業について理解する進路学習も行っています。



3年次生による羅針発表会。3年間の集大成として、学年代表が発表します。



本とふれあうことで、子どもたちの豊かな心を育てます！

市立図書館では、子どもたちが主体的に読書に親しむ習慣を付ける環境づくりを推進するためにさまざまな取組を行っています。



お父さんが小さい頃に、図書館に連れて行ってくれました。本も図書館も好きです。夏休みには宿題をしたり、何かを調べたりするのにとても便利です。本と出会う機会をもっとつってほしいな！

街頭紙芝居 ～子ども読書の日 関連行事～



今年度は「街頭紙芝居」を開催。子どもだけでなく、大人も、古き良き昭和のたたずまいに引き込まれていました。来年度、児童図書館では「人形劇」「手づくり紙芝居教室」を予定しています。お楽しみに！

BCG 接種時、赤ちゃん向けにブックスタートパックをプレゼントしたり、子どもと本をつなぐ大人のための講座やブックトークを開催したりするなどさまざまな取り組みを行っています。



おばあちゃんが小さい頃、絵本の読み聞かせをしてくれました。とてもよい思い出だよ！

武山小 3年生の図書館見学とおはなし会



本は10冊まで、15日間借りることができます。開館は9:30。原則、月曜日と第4木曜日、年末年始以外は開いています。



素話を2話とパネルシアターを楽しみました。

※素話とは、「すばなし」と読み、語り手と聞き手の間に本などがなく、その人の声と言葉でお話しを語ること。



インターネットで本が検索できるよ！

夏休みおはなし会

～ネイティブによる外国語絵本の読み聞かせ～



日本語版と英語版の2冊の絵本を使った読み聞かせです。歌を歌ったり、手遊びもしたりして、子どもたちは夢中でした。来年度も夏休みとクリスマスの2回児童図書館で開催する予定です。

子どもが自発的な読書習慣を身に付け、読書体験を重ねていくことは人生をより豊かにし、「生きる力」を育むことにつながっていきます。

《編集・発行責任者》 横須賀市教育委員会 教育総務部総務課 教育政策担当
〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

TEL : 046-822-9709 (編集担当直通) FAX : 046-822-6849

E-mail : sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

◇この冊子についてのご意見や感想をお寄せください。お待ちしております。



この冊子は、34000部製作し、1部あたりの印刷経費は12円です。